

日本社会保障法学会会報 第24号

発行日：2008.4.1 発行人：良永彌太郎 編集人：石橋敏郎 発行：日本社会保障法学会
事務局住所：〒862-8502 熊本県熊本市月出3-1-100 熊本県立大学総合管理学部気付
Tel：096-383-2929(代表) Fax：096-383-2966 E-mail：social-security@pu-kumamoto.ac.jp
URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jassl/ 会員数：614名（2008年4月1日現在）

第53回春季大会開催案内 事務局長 石橋敏郎（熊本県立大学）

日本社会保障法学会第53回春季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

・日 時：2008年5月17日（土） 9：30～17：00

・会 場：熊本県立大学（〒862-8502 熊本県熊本市月出3-1-100）

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。

総会・シンポジウム会場：大講義棟 1階 大講義室

・お問い合わせ先 Tel：096（383）2929

・大会次第（予定：内容等の詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。）

受付開始……………9:00

開会……………9:30

個別報告

●第一会場（新講義棟 1階 中講義室2）

○田中秀一郎（岩手県立大学）……………9:30～10:30
「ドイツ年金保険における財産権論」
司会：河野正輝（熊本学園大学）

●第二会場（新講義棟 1階 中講義室3）

○高田清恵（琉球大学）……………9:30～10:30
「スウェーデン社会サービス法における援助を受ける権利の保障——2006年改正を中心に」
司会：古橋エツ子（花園大学）

共通テーマ・シンポジウム

「社会保障法における裁判外紛争解決」

司会：林 弘子（福岡大学）
新田秀樹（大正大学）

○江口隆裕（筑波大学）……………10:40～11:15
「社会保障法における裁判外紛争解決のあり方」

○関 ふ佐子（横浜国立大学）……………11:15～11:50
「アメリカ高齢者法における裁判外紛争解決」

開催校挨拶	11:50～12:00
総会	12:00～12:30
休憩（昼食）	12:30～13:30

共通テーマ・シンポジウム（続き）

○清水泰幸（福井大学） 「フランス社会保障法における裁判外紛争解決」	13:30～14:05
○台 豊（青山学院大学） 「医療保険における裁判外手続に関する立法論的考察」	14:05～14:40
○橋本宏子（神奈川大学） 「社会保険審査会／年金記録確認第三者委員会における裁判外紛争解決」	14:40～15:10
休憩	15:10～15:30
○シンポジウム	15:30～17:00

大会終了 17:00（予定）

- ※同封の大会出欠確認はがきに必要な事項を記載の上、**2008年5月7日（水）**までにご返送いただきますようお願いいたします。 **今年は会員名簿発行年です。欠席の場合も必ずご返送ください。**
- ※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2. 昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。
- ※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は7,000円です。懇親会の会場は、メルパルク熊本（熊本市水道町14-1、TEL 096-355-6311）です。
- ※本大会では、事務局の都合等により、託児コーナーは設けませんのでご了承ください。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 菊池馨実（早稲田大学）

第53回春季大会は、2008年5月17日に熊本県立大学で行われます。「社会保障法における裁判外紛争解決」というテーマで、橋本宏子・江口隆裕両会員が担当理事となって研究会など精力的に準備を進めています。若手会員によるアメリカ・フランスの比較法研究を織り交ぜながら、社会保障法各領域における裁判外紛争解決の現状を取り巻く問題点を明らかにし、社会保険領域を中心に、報告者諸氏の実務経験に裏打ちされた説得力ある立法論的考察が展開されることが期待されます。

第54回秋季大会は、2008年10月12日に東洋大学で行われます。従来とは趣向を変え、ミニシンポジウム形式で行います。「通勤災害保護制度の意義と今後の展開」（担当理事・品田充儀会員）、「雇用・社会保障法制の交錯と新展開～ドイツ・ハルツ改革にみる示唆～」(担当理事・木下秀雄会員)、「生活保護受給者に対する自立支援プログラムの意義と問題点」（担当理事・石橋敏郎会員）という三つのテーマに決定し、現在、各報告者グループで鋭意準備が進められています。いずれも、通常の大シンポジウムテーマとは必ずしもならないとの側面もありますが非常に重要なテーマで、その意味ではミニシン

ポのテーマに相応しいものと言えるでしょう。いずれも、雇用・労働法制と関連あるテーマとなっている点でもご期待ください。

第55回春季大会は、会員諸氏からのアンケートでも特に関心の高いテーマとして、「障害者自立支援をめぐる法的課題～障害者法の視点から～」と題して、河野正輝理事・大曾根寛監事を担当者として、報告をお願いすることとなりました。

なお原則として毎行われている個別報告については、随時報告者を募集しております（第54回大会は、午前・午後それぞれ別のミニシンポを開催するため、個別報告は行いません）。報告を希望される会員は、理事または企画委員にお申し出ください。個別報告をしていただく前に、本学会の会員を中心に構成された各地の研究会で準備報告をしていただきます。企画委員会から最寄りの地域の研究会をご紹介しますので、ご相談ください。

（若手会員の文献リストに関して）

企画委員会では、今後の企画立案に役立てるとともに、若手会員（40歳未満もしくは大学院入学後10年未満の会員）の業績を広く紹介するため、文献リストを作成し、毎号の会報に掲載しています（当学会の学会誌掲載のものは除く）。つきましては、企画委員会の情報収集能力に限界があるため、上記要件に該当する論文・著書の現物またはコピーを、下記宛にお送りくださると幸いです。なお、お送りいただいた論文・著書は返却いたしませんのでご了承ください。

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田大学法学学術院 菊池馨実 宛

○若手会員文献リスト（2008年3月現在のもの、著者五十音順）

著者	題目	出典	発行年月	頁
内楢博信	「企業年金受託者の義務と加入者の受給権（1）」	志学館法学8号	2007年3月	145-231頁
尾形 健	「生存権論の可能性 ——憲法25条をめぐる司法審査のあり方についての一視点」	法学教室326号	2007年11月	14-21頁
葛西まゆこ	「福祉に関するエンタイトルメント概念の一考察 ——『憲法上の積極的権利』と『法的資格（法的地位）』の間隙」	大東法学17巻1号	2007年10月	79-122頁
笠木映里	「医療制度 ——近年の動向・現状・課題」	海外社会保障研究161号	2007年12月	15-26頁
衣笠葉子	「少子社会における仕事と家庭の両立支援策の展開と課題」	近畿大学法学55巻2号	2007年9月	199-243頁
柴田洋二郎	「フランスにおける医療保険制度の動向——近年の改革による一般化の実現」	海外社会保障研究157号	2006年12月	60-70頁
柴田洋二郎	「家庭生活と職業生活の両立 ——育児に関するフランスの社会法制」	嵩さやか=田中重人編『雇用・社会保障とジェンダー』東北大学出版会	2007年5月	369-394頁
嶋田佳広	「生活保護と就労支援」	季刊労働法217号	2007年6月	108-124頁
清水泰幸	「フランスにおける家族政策」	海外社会保障研究161号	2007年12月	50-60頁

著者	題目	出典	発行年月	頁
高田清恵	「社会サービス法における援助を受ける権利と法的保障の強化——2006年改正を中心に」	琉大法学 77号	2007年3月	1-55頁
嵩 さやか	「フランス年金制度の現状と展望」	海外社会保障研究 161号	2007年12月	37-49頁
嵩 さやか	「フランスにおける社会福祉サービスと契約への規制」	岩村正彦編『福祉サービス契約の法的研究』信山社	2007年2月	145-181頁
嵩 さやか	「フランスの年金制度と女性」	嵩さやか＝田中重人編『雇用・社会保障とジェンダー』東北大学出版会	2007年5月	395-416頁
中野妙子	「スウェーデンにおける福祉サービス利用関係の法的検討」	岩村正彦編『福祉サービス契約の法的研究』信山社	2007年2月	206-272頁
中益陽子	「イタリアの医療保障・保健制度——職種・業種別制度から普遍的制度への転換」	菅野和夫＝中嶋士元也＝渡辺章編著『友愛と法——山口浩一郎先生古稀記念論文集』信山社	2008年1月	295-325頁
根岸 忠	「マネジドケア組織と米国 ERISA上の受託者責任——HMO と ERISAの受託者責任に関する判例法理の検討をとおして」	季刊労働法 216号	2007年3月	204-214頁
原田啓一郎	「フランスの高齢者介護制度の展開と課題」	海外社会保障研究 161号	2007年12月	26-36頁
原田啓一郎	「フランスにおける非典型雇用と社会保険の適用——パートタイム労働者を中心に」	季刊労働法 218号	2007年9月	146-155頁
丸谷浩介	「イギリスの非正規雇用と社会保障」	季刊労働法 218号	2007年9月	137-145頁
脇野幸太郎	「母子家庭の自立と家族政策——ハルツ第IV法を手がかりに」	本沢巳代子＝ベルント・フォン・マイデル編『家族のための総合政策——日独国際比較の視点から』信山社	2007年9月	163-185頁

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 菊池馨実（早稲田大学）

学会誌投稿論文（「社会保障法」第24号掲載予定）を募集しています。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。募集要領は、下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。

- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、12,000字（200字詰め原稿用紙60枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2008年8月31日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。
〒862-8502 熊本県熊本市月出3-1-100 熊本県立大学総合管理学部気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

以上

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 菊池馨実（早稲田大学）

2008年度（第5回）学会奨励賞候補作品の推薦（自薦も含む）を、下記の要領で募ります。なお、推薦された候補作品は審査委員会で審査の上、受賞者は秋の総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2007年（1月から12月）に公刊された著書および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に35歳以下の会員
- 3 受賞者数：原則として1名
- 4 締め切り：2008年5月31日
- 5 推薦の通知先：〒862-8502 熊本県熊本市月出3-1-100
熊本県立大学総合管理学部気付 日本社会保障法学会事務局宛

以上

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 加藤智章（新潟大学）

学会誌23号につきましては、会員皆様のご協力により、現在、公刊に向け鋭意努力中です。投稿論文の締め切りについては学会誌22号から1ヶ月早め、8月末日となっております。これは、修正依頼があった場合の時間的余裕を確保するためのものですのでご理解ください。また、枚数につきましては200字詰め原稿用紙で60枚となっております。学会誌24号は新機軸のシンポジウムのため紙幅に余裕がありませんので、この点も枚数厳守をお願いいたします。

53回春季大会では、学会当日の昼食休憩時間を利用して、編集委員会を開催する予定です。編集委員会の委員におかれましては、具体的な日時等についてメールでお知らせいたしますので、ご承知おき下さい。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2007年度10月定例理事会

- ・日時：2007年10月12日（金）16：00～18：00
- ・場所：立命館大学 末川記念会館 第3会議室
- ・議事内容
 - ①第52回秋季大会の運営について（略）
 - ②第53回春季大会の運営について（略）
 - ③第54回秋季大会の運営について（略）
 - ④第55回春季大会以降の運営について（略）
 - ⑤学会誌編集委員会より
加藤学会誌編集委員長より、学会誌第23号のタイトル、書評の選定結果、目次等の報告。
 - ⑥国際交流委員会より（略）
 - ⑦日本学術会議関連の動きについて
連携会員である井上理事より、最近の日本学術会議の動向についての報告。
 - ⑧学会講座特別会計の使途について
石橋事務局長より、特別会計の使途についての提案。次回の講座発行企画に充てることが承認。
 - ⑨2007年度会計中間報告
石橋事務局長より、2007年度会計の中間報告。
 - ⑩入会者承認、退会者報告（略：下記の入退会者紹介をご覧ください）

○2007年度12月定例理事会

- ・日時：2007年12月15日（土）16：00～18：00
- ・場所：京都大学 人間・環境学研究科棟 333号室
- ・議事内容
 - ①第53回春季大会の運営について（略）
 - ②第54回秋季大会の運営について（略）
 - ③第55回春季大会以降の運営について（略）
 - ④学会誌投稿論文について
菊池企画委員長より、2本の投稿論文の審査結果について、2本とも不採用という査読結果報告。
 - ⑤学会誌編集委員会より
加藤学会誌編集委員長より、学会誌第23号のタイトル、目次等についての報告。
 - ⑥国際交流委員会より（略）
 - ⑦日本学術会議関連の動きについて（略）
 - ⑧会員名簿について
石橋事務局長より、名簿発行についての報告。
 - ⑨入会者承認、退会者報告（略：下記の入退会者紹介をご覧ください）

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○会員名簿掲載の可否に関する意思表示について

今年（2008年）は、2年に1度の会員名簿発行の年です。前回（2006年）同様、今回同封した大会出欠確認はがきで、会員名簿掲載の可否（住所・TEL・所属・E-mail）についての意向確認をさせていただきます。名簿への掲載を望まない場合には、その旨の意思表示をしていただく必要がございます。

ますので、ご欠席の場合も必ず返送ください。会員名簿は、9月会報に同封して発送する予定です。

○長期滞納者の退会処理について

2006年6月の理事会において、次のことが決定されました。学会規約第7条「会員は、総会の定めるところにより、会費を納めなければならない。会費を滞納したものは、理事会において、退会したものとみなすことができる」との規定に基づき、3年度分以上滞納した会員については、理事会での議論を踏まえて、会費納入の督促を行い、それでも会費の納入がない場合には退会者とみなすこととなりました。会員各位のご了解とご協力を宜しくお願いいたします。

○学会費振替手数料の会員負担について

2006年度の会費より、学会の財政負担軽減のため、学会費振込手数料につきましては、各会員の負担とさせていただいております。会員各位のご了解とご協力をお願いいたします。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第54回秋季大会は、2008年10月12日（日）東洋大学にて開催される予定です。

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

入退会者紹介 日本社会保障法学会事務局

- ・2007年10月12日、12月15日の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。

（順不同、敬称略）

早川智津子（岩手大学）

岡部 卓（首都大学東京）

渡邊 誠（熊本大学大学院 法学研究科、熊本労働局職業安定部）

島田友子（熊本県立大学大学院、県立長崎シーボルト大学）

岩永昌晃（京都産業大学）

高崎 亨（同志社大学大学院 総合政策科学研究科）

上田憲一郎（筑波大学大学院 ビジネス科学研究科）

西山 裕（国立社会保障・人口問題研究所）

川崎航史郎（龍谷大学大学院）

鎌田耕一（東洋大学法学部）

川原恵子（東洋大学社会学部）

加藤文子（実践女子大学人間社会学部 非常勤）

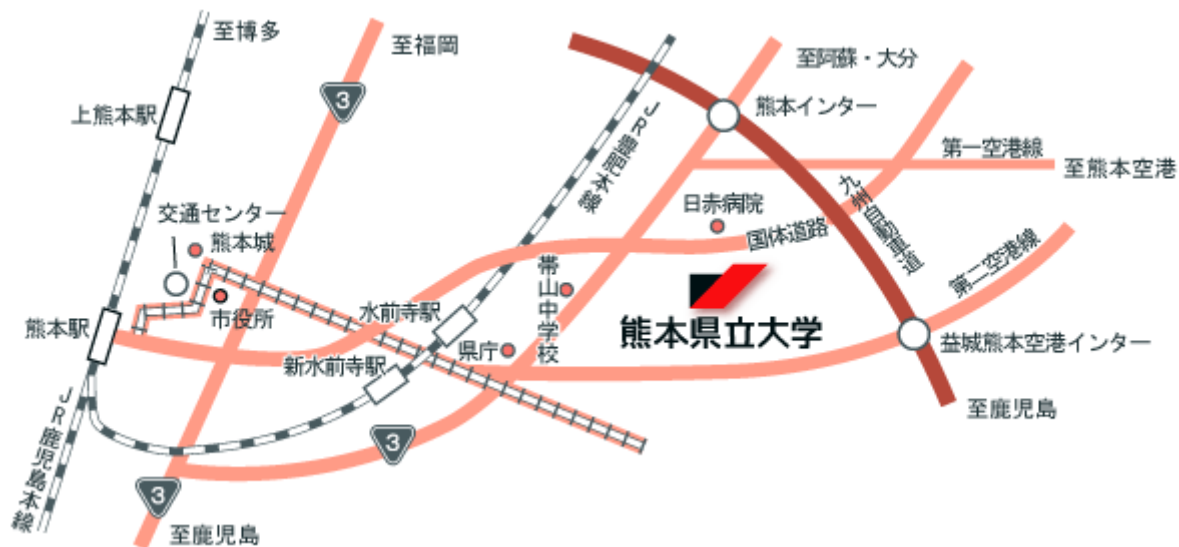
寺山洋一（香川大学法学部）

湯木知史（京都大学大学院医学研究科）

- ・2007年10月12日の定例理事会で、次の方の退会が報告されました。（敬称略）

西原道雄

■熊本県立大学 アクセスマップ



所在地：〒862-8502 熊本市月出3丁目1番100号

JR 熊本駅から

■ バスを利用する場合

JR 熊本駅から、バスで約10分、交通センター下車(又は、市電で約10分辛島町電停下車)。

交通センターからは

27番乗り場

(1) 市営バス「日赤・長嶺団地・月出」行き(「県1」、「県3」、「味1」又は「味2」表示)で約40分、「県立大通り」(県立大西門の場合)又は「県立大学前」(県立大正門の場合)下車、徒歩1分。

14番乗り場

(1) 産交バス「パークドーム」行き(「鹿8」表示)で約30分、「日赤病院前」(県立大車両門の場合)下車徒歩1分。

(2) 産交バス「戸島」行き(「鹿7」表示)で約30分、「日赤病院前」(県立大車両門の場合)下車、徒歩1分。

12番乗り場

市営バス「長嶺小学校前」行き(「鹿10」表示)で、約35分、「日赤病院前」(県立大車両門の場合)下車、徒歩1分。

■ 車、タクシーを利用する場合

所要約25分

JR 水前寺駅から

■ 車、タクシーを利用する場合

所要約15分

■ バスを利用する場合(「水前寺駅前」バス停から)

市営バス「日赤・長嶺団地・月出」行き(「味1」又は「味2」表示)で約15分、「県立大通り」(県立大西門の場合)又は「県立大学前」(県立大正門の場合)下車、熊本県立大学まで徒歩1分。

熊本空港から

■ 車、タクシーを利用する場合

所要約20分

■ バスを利用する場合

「熊本駅前」行きリムジンバスで約20分、「自衛隊前」下車。

「自衛隊前」バス停から、熊本県立大学までタクシーで約10分。

福岡方面からの高速バスを利用する場合

■ 熊本インターチェンジ経由便の場合

高速バスが熊本インターチェンジを降りてから3つ目のバス停、「帯山中学校前」で下車。「帯山中学校前」バス停から、熊本県立大学までタクシーで約10分。

同バス停から徒歩3分の「帯山小学校入口」バス停から、市営バス「日赤・長嶺団地・月出」行き(「県1」、「味1」又は「味2」表示)で約10分、「県立大通り」(県立大西門の場合)又は「県立大学前」(県立大正門の場合)下車、熊本県立大学まですぐ。

■ 益城熊本空港インターチェンジ経由便の場合

高速バスが益城熊本空港インターチェンジを降りてから2つ目のバス停「自衛隊前」下車。

「自衛隊前」バス停から、熊本県立大学までタクシーで約10分。

九州自動車道・熊本インターチェンジから

車で約15分

熊本インターチェンジから国道 57 号(東バイパス)を熊本市街方面に約4km 南下し、国体道路・産業道路との交差点信号(左手かどに「洋服の青山」)を左折。

その後、約1.5km 直進し、6つ目の信号右手(左手に「熊本赤十字病院」、「日本赤十字社健康管理センター」)に熊本県立大学あり。

■熊本県立大学 キャンパスマップ

大講義棟 1階

【メイン会場】

